

4

共同利用・共同研究拠点

病理リソースを活用した脳神経病態共同研究拠点

- プロジェクト型共同研究
- 資源利用型共同研究
- 国際共同研究

令和4(2022)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

プロジェクト型					
ゲノム情報を基盤とした認知症の病態解明	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
精神疾患死後脳の多階層解析	東北大学災害科学国際研究所	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
神経変性疾患における翻訳品質管理RQCの機能解析	東京大学	教授	稲田 利文	病理学分野	柿田 明美
多発性硬化症の治療薬開発研究	藤田医科大学	教授	鈴木 元	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
ATN分類におけるγ-secretase活性変化の解析(継続)	同志社大学	助教	角田 伸人	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
凝集前シヌクレインに着目した病態解明とその応用	弘前大学	助教	丹治 邦和	病理学分野	柿田 明美
水チャネル特異的制御による脳内免疫細胞の新規機能探索	生理学研究所	特任助教	堀内 浩	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
正常脳組織のゲノム解析によるIDH変異型グリオーマ発生基盤の解明	京都大学	講師	荒川 芳輝	病理学分野	柿田 明美
脳におけるドーパミン受容体を介した核-細胞質間輸送制御機構の解明	北里大学	准教授	板倉 誠	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
逆向現象(postdiction)の脳内メカニズムの研究	京都大学霊長類研究所	特定助教	勝山 成美	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
TGN-073を用いた核酸医薬の薬物動態研究	東京医科歯科大学	教授	横田 隆徳	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
新規アルツハイマー病病理モデルマウスを用いたAβ蓄積依存的変動遺伝子の網羅的解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	橋本 唯史	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
脳虚血病巣と腸管機能および腸内細菌叢の連関におけるエクソソームの関与の検討	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
内因性カンナビノイド2-AGIによる歯状回顆粒細胞を介した記憶制御機構の解明	東京大学	講師	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
アルツハイマー病シングルセルデータを用いた統合ゲノミクス解析	大阪大学	特任准教授	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
神経腫瘍におけるがん代謝を標的とした治療法の開発	藤田医科大学	准教授	大場 茂生	脳神経外科学分野	森田 学
生体リズム異常の遺伝子改変技術による分子機構の解明	京都大学	研究員	岡村 均	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
血中糖タンパク質の由来臓器同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学
遺伝子改変マウスの神経活動を記録し、パーキンソン病の病態生理を解明する	自然科学研究機構生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
絶対音感の神経基盤の解明	福島県立医科大学	助教	松田 将門	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
ポリプロテインパッチーとしてのグアム島のパーキンソン認知症とALS: タウ、TDP-43、アルファシヌクレイン、ユビキチンの蓄積様態と神経細胞脱落メカニズム	信州大学	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
線条体投射神経細胞特異的Tsc1遺伝子ノックアウトマウスの遺伝子発現解析	岡山大学	助教	宮崎 晴子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
知覚判断とアルファ振動の関係を検討する心理実験および脳機能計測	中京大学	教授	近藤 洋史	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
タウオパチーにおける海馬由来コリン作動性神経刺激ペプチド関連因子の動態	名古屋市立大学	教授	松川 則之	遺伝子機能解析学分野	池内 健
内因的行動の神経基盤の解明	中京大学	任期制講師	酒多 穂波	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
新しいフェロトーシス阻害システムによる神経細胞保護の検討	群馬大学	教授	鳥居 征司	脳神経内科学分野	金澤 雅人
慢性疼痛関連分子を標的とした脳および脊髄での機能的解明	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
微小管結合タンパク質を中心としたゲノム解析と機能解析	同志社大学生命医科学部	准教授	宮坂 知宏	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
神経回路精緻化メカニズムの遺伝学的解析	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
アルツハイマー病タウ蓄積および変性に対するaquaporin-4機能促進薬TGN-073の効果の検証	東京大学	助教	山田 薫	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
SCA42モデルマウス解析を通じた脊髄小脳変性症治療法の開発	公立大学法人横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
ミクログリア機能修飾によるタウ病態の変化の検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	主幹研究員	高堂 裕平	脳神経内科学分野	金澤 雅人
脳梁膨大後皮質におけるグルタミン酸受容体GluD2による入力選択的回路形成機構	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	モデル動物開発分野	阿部 学
BRAF V600E変異腫瘍に対する分子標的治療後獲得耐性の克服に向けたトランスレーショナル研究	横浜市立大学大学院医学研究科	助教	立石 健祐	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
中枢神経系原発悪性リンパ腫におけるcaveolin-1発現とその臨床病理学的意義	久留米大学	教授	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
体内時計を制御するオーファン受容体のリン酸化変動を介した睡眠制御機構の解明	京都大学大学院	教授	土居 雅夫	モデル動物開発分野	阿部 学
日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドのNMR研究	東京工業大学	教授	石井 佳誉	病理学分野	柿田 明美
CESTIによる脳機能評価系の確立を目指した基礎検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	グループリーダー	青木 伊知男	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
マルチスケールイメージングによる大脳基底核の機能解明	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
アルツハイマー病感受性遺伝子バリエントが中枢神経病理に及ぼす影響の検討	医療法人さわらび会 福祉村病院	副所長	金田 大太	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
筋強直性ジストロフィーにおけるタウ病理:タウPETを用いた検討	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	技術員	互 健二	病理学分野	清水 宏

※所属および職名は申請時のものです。

令和4(2022)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

資源利用型					
アルツハイマー病脳脊髄液バイオマーカーと脳機能画像の対比の研究	東京医科大学	主任教授	清水 聡一郎	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
脳疾患ゲノム情報に基づく病態モデルマウスの整備に関する共同研究	理化学研究所	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
神経変性疾患のPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	副部長	木村 泰之	病理学分野	他田 真理
疾患モデル動物の作製、保存、繁殖に有用なゲノム編集および生殖工学技術に関する研究	熊本大学	教授	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
末梢臓器でのドーパミン代謝機構の解析による神経疾患病態の理解	東京工業大学	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
神経・筋疾患の動物モデル化による病態の解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	青木 吉嗣	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と学習行動に関する解析	関西学院大学	教授	矢尾 育子	モデル動物開発分野	阿部 学
TDP-43イメージングプローブ開発の基礎検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	研究員	小野 麻衣子	病理学分野	柿田 明美
脳研究に必要な遺伝子改変マウスの系統保存に重要な培養条件の検討	東京医科大学	教授	久慈 直昭	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
神経変性疾患モデルマウスのヒト疾患との連関	昭和大学	准教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
脳腫瘍の原因遺伝子変異を特異的に抑制するsiRNA核酸医薬品開発	東京大学	准教授	程 久美子	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
筋萎縮性側索硬化症におけるイノシトール6リン酸キナーゼの役割	東海大学医学部	教授	永田 栄一郎	病理学分野	柿田 明美
筋強直性ジストロフィーにおける多臓器障害の原因解明	大阪大学	特任准教授(常勤)	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
アルツハイマー病における三叉神経中脳路核—青斑核周囲病変の解析	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	教授	後藤 哲哉	病理学分野	柿田 明美
DNA障害型抗がん剤の感受性増強因子SLFN11の脳腫瘍における発現解析と臨床的有用性の検討	慶應義塾大学	特任准教授	村井 純子	脳神経外科学分野	森田 学
運動ニューロン変性に関与する翻訳後修飾の同定	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
超短命アフリカメダカを用いた各種抗酸化食品成分のアンチエイジング効果の研究	筑波大学	准教授	小林 麻己人	脳病態解析分野	松井 秀彰
脳神経筋疾患モデルマウスにおける超過剰排卵誘起処理と反復採卵による系統保存システムの開発2	公益財団法人 実験動物中央研究所	センター長	高橋 利一	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
遺伝性白質脳症におけるミクログリアの役割解明	京都大学	特定助教	濱谷 美緒	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
拡散MRI信号におけるアクアポリン機能の評価研究	東京都立大学	准教授	畑 純一	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
※所属および職名は申請時のものです。					

令和4（2022）年度 新潟大学脳研究所 国際共同研究 一覧

研究課題名	研究代表者			所内対応教員		
	国	所属機関・組織名	職名	氏名	分野名	氏名
Hydrodynamic Pathology of the Brain 脳水動態病理学の創生	米	Neurology, Univ. of California Davis (カリフォルニア大学デービス校)	Prof.	Ingrid L Kwee	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
The role of striatal direct and indirect pathways and dopamine D2 isoforms in the pathophysiology of psychosis 精神疾患の病態生理における線条体の直接路と間接路およびD2ドーパミン受容体分子種の役割解明の研究	米	Department of Pharmaceutical Sciences & Health Outcomes, Ben and Maytee Fisch College of Pharmacy, The University of Texas at Tyler (テキサス大学タイラー校)	Associate Prof.	Yanyan Wang	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
Investigation of the role of neuromodulators in state transition of neural dynamics to represent a behavioral goal 行動目標表現の際のネットワーク動態変性における神経調節因子の役割の解明	独	Max Planck Institute for Brain Research (マックスプランク脳科学研究所)	Research Group Leader	Hiroshi Ito 伊藤 博	細胞病態学分野	三國 貴康
Investigating the role of BAI1 in the tumor cell invasion of malignant glioma 悪性神経膠腫の腫瘍細胞浸潤におけるBAI1 の役割の解明	米	Department of Neurosurgery, School of Medicine and O'Neal Comprehensive Cancer Center, University of Alabama at Birmingham (アラバマ大学バーミングム校)	Assistant Prof.	Satoru Osuka 大須賀 寛	脳神経外科分野	藤井 幸彦
Investigation of pathogenesis of Alzheimer's disease using mouse models マウスモデルを用いたインフラマソームを介したアルツハイマー病の病態生理の解明	米	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute (マサチューセッツ州立メディカルスクール)	Associate Prof.	Kensuke Futai 二井 健介	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
Production of transgenic mouse lines for labeling retinal cell types and analyses of their roles in visual function 網膜細胞タイプ標識のための遺伝子改変マウス系統の作出と視覚機能解析	デンマーク	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara 米原 圭佑	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
Characterization of novelty circuits responsible for memory boosts 日常の記憶の増強を担う新奇な体験情報を伝達する神経回路の同定	デンマーク	Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi 竹内 倫徳	システム脳病態学分野	田井中 一貴
High expression of SLFN11 induces sensitivity to DNA damaging agents in medulloblastoma 髄芽腫におけるSLFN11発現およびDNA障害型抗がん剤への感受性の検討	米	Departments of Pathology, Oncology, and Ophthalmology Chief of Ophthalmic Pathology Director of Neuropathology, Johns Hopkins University School of Medicine (ジョンズ・ホプキンス大学)	Prof.	Charles G. Eberhart	脳神経外科分野	藤井 幸彦
Sphingosine kinase 2 in Huntington disease ハンチントン病におけるスフィンゴシンキナーゼ2	米	Department of Neurology, The University of Texas McGovern Medical School at Houston (テキサス大学ヒューストン)	Assistant Prof.	Andrey Tsvetkov	病理学分野	柿田 明美
Sex differences in iron deposition in the brain 脳内鉄蓄積における性別差異に関する研究	米	Department of Neurology, University of Texas Health Science Center at Houston, McGovern Medical School (テキサス大学ヒューストン)	Assistant Prof.	Jose Felix Moruno-Manchon	病理学分野	柿田 明美

※所属および職名は申請時のものです。